



ゲノミック評価のための耳片試料の取扱開始について

家畜改良事業団（理事長 伊地知俊一）は、明日、令和3年7月1日（木）より乳用牛 SNP 検査および肉用牛ゲノミック評価のための検査試料として、市販の耳片採取器材を使用して採取した耳片試料の取扱いを開始しますのでお知らせいたします。

SNP 検査・ゲノミック評価の検査試料として現在のところ毛根試料が最も定着していますが、申込者の希望や都合に合わせた検査試料の選択肢の一つとして、今後普及が急速に進むと考えられる耳片試料を追加いたします。

耳片試料を選択するメリットとして、他の試料と比べて格段に採取が簡便・迅速・確実であることに加え、試料の均一化が図られるため、試料の劣化・不足が原因の再検査や試料再採取の低減が見込まれます。

耳片試料の詳細は、以下のウェブページに掲載しています。

家畜改良技術研究所ウェブサイト

ウシ>ゲノミック評価>サンプルの採取方法>耳片の採取方法

http://liaj.or.jp/giken/usi_ghyouka_saishu.html#jihen

<お問い合わせ先>

一般社団法人 家畜改良事業団
家畜改良技術研究所
群馬県前橋市金丸町 316
担当 遺伝検査部
塗本 雅信 (ぬりもと まさのぶ)
TEL : 027-269-2441
FAX : 027-269-9331
E-mail : nurimoto@liaj.or.jp

耳片の採取方法

耳片採取には、専用の耳片採取器材が必要です。

国内販売製品はこちら（オールフレックスTSU・ワンタッチサンプラー）

※当園から耳片採取器材の配布は行っておりません。

採取方法の詳細版はこちら（オールフレックスTSU・ワンタッチサンプラー）

採取方法の動画はこちら（オールフレックスTSU・ワンタッチサンプラー）



耳の筋肉組織を採取します。

1. 牛をしっかり保定し、耳片を採取する耳の両面をペーパータオル等で拭きます。



2. 耳片採取器材を用いて、耳の後ろから刃を当て耳片をすばやく採取します。器材の取り扱いについては、各メーカーの説明書に従って、操作して下さい。
注意：太い血管を避けて、採取して下さい。出血した場合は、**圧迫して止血を行って下さい。**

オールフレックスTSU



3. 採取容器（チューブ）内に耳片があることを確認して下さい。
4. 必要事項をラベルに記入し、発送まで室温で保管して下さい。
1袋に1頭分の採取容器を入れて、家畜改良事業団遺伝検査部あてに送付して下さい。

ワンタッチサンプラー



※耳片採取器材は、動物用医薬品取扱業者（オールフレックスTSU）、サージミヤワキ株式会社（ワンタッチサンプラー）からご購入ください。当園から耳片採取器材の配布は行っておりません。